

## 学長のコラム

### “久しぶり、元気かい(会)”

命名が当を得ている表題の会に初めて出席させていただきました。昨年度卒業の学生 125 名の出席とのことで、約 35%の出席率になります。会が始まると小野顧問(前学長)と隣り合わせに座った私どものテーブルの学生はすぐになくなり、よそで友人と立ち話。同期生として、ほぼ一年ぶりの再会にそれぞれの話に夢中になっていた。・・・ということで、いろいろ話を聞かせてくださいと挨拶したものの、その場では、残業が多く大変です・・・程度の話が聴くのが精いっぱいだったので、アンケート(12月頃、会への出欠の返事と一緒に回収、回答率 49.1%)の意味は大きい。アンケートによると大学への満足度(5項目)については、医学検査学科では、満足、やや満足を合わせて 79%~90%、看護学科が、87%~92%、リハビリ学科が 56%~73%であり、リハビリ学科が、他の 2 学科に較べて、20%近く満足度が低いのが気になる。特に、「大学の学びは役に立っていますか」の項目では、医学検査 79.3%、看護 89.4%、リハビリ 56.1% となり、「専門知識や技術を活かすことができましたか」の質問に対しては、医学検査 81.0%、看護 80.9%、リハビリ 50.0% となっており、何か問題がありそうです。学科で是非、その原因を解明して、対処していただきたい。「大学への要望事項―授業について」や「臨地実習について」にあるリハビリ学科への意見が原因究明のヒントになるかもしれません。「大学への要望事項―施設・設備面について」に関しては、懸案事項の ATM、コンビニも含めて、大学事務局で改善の努力をすべきでしょう。会を実施いただいた就職委員会、就職支援センターの皆様のご尽力に感謝します。お疲れ様でした。



### 平成 27 年度 久しぶり、元気かい(会)

平成 28 年 2 月 13 日(土)、ホテル熊本テルサにおきまして、平成 27 年 3 月卒業生の同期会「久しぶり、元気かい(会)」を開催しました。その主たる目的は、懇談会を通して近況報告を行い、教職員と卒業生が相互に親睦を深めることです。

当日は 168 名(医学検査学科卒業生 56 名、看護学科卒業生 38 名、リハビリテーション学科卒業生 31 名、教職員 43 名)の



方々にご参加いただきました。昨年ご退職された、小野前学長や永野先生にもご参加いただき、大盛況でした。(文責：就職支援センター)

## 2月・3月の主な行事予定

2月 4日(木)	一般入学試験：合格発表 2月 12日(金)
12日(金)	看護学科キャリア教育セミナー(九州外)
14日(日)	看護師国家試験：合格発表 3月 25日(金)
15日(月)	看護学科キャリア教育セミナー(九州内)
16日(火)	保健師国家試験：合格発表 3月 25日(金)
17日(水)	助産師国家試験：合格発表 3月 25日(金)
19日(金)	ソグット大学・ソグット大学(タイ) 来訪(～22日)
20日(土)	言語聴覚士国家試験：合格発表 3月 28日(月)
22日(月)	利益相反に関する研修会(講師：馬場啓顧問弁護士)
24日(水)	臨床検査技師国家試験：合格発表 3月 29日(火)
25日(木)	学術講演・セミナー(講師：高知大学医学部附属病院 次世代医療創造センター 田井麻美先生)
26日(金)	認定看護師教育課程修了式
27日(土)	第 1 回熊本保健科学大学同窓会連合会 合同イベント
28日(日)	理学・作業療法士国家試験：合格発表 3月 29日(火)
3月 4日(金)	センター利用(後期日程)入試：合格発表 3月 11日(金) 看護学科臨地実習合同会議
5日(土)	大学院一般選抜・社会人選抜(Ⅱ期)入試 後援会役員会
11日(金)	卒業式・修了式・卒業記念パーティー
15日(火)	アクティブラーニング研修会(講師：九州工業大学学習教育センター 宮浦崇准教授) 情報セキュリティ・個人情報保護委員会合同研修会
16日(水)	学校法人银杏学園 第 3 回理事会、第 2 回評議員会
17日(木)	学内研究助成・研究成果報告会(～18日)
22日(火)	第 2 回 FD セミナー(講師：早稲田大学 梅永雄二教授) ハラスメント防止研修会
24日(木)	「ICT活用と著作権」講習会(講師：放送大学客員教授 福山平成大学副学長 尾崎史郎氏)
31日(木)	辞令交付式

### 米満弘之理事長 “歓迎の夕べ”

2月 18日(木)にホテル日航熊本において、米満弘之理事長“歓迎の夕べ”を開催しました。発起人代表の崎元学長の挨拶や、本学評議員で熊本県医師会会長でもあられる福田桐様による祝辞で、米満理事長のこれまでのご活躍について紹介いただき、医療人としてもとても素晴らしい方を



本学の理事長としてお迎えしたのだと実感しました。これからよろしくお祈り致します。

### 一般入試

2月 4日(木)の一般入試志願者数は、募集人員 128 名に対し昨年より大幅増の 827 名でした。熊本会場、地方会場ともに無事に終了しました。お疲れ様でした。

## 学長・学部長 国試激励会

国家試験まで1ヶ月を切ろうとする頃、崎元学長と高濱学部長による国試激励会が各学科・専攻ごとに開かれました。激励の言葉の中で、学長は“人事を尽くして天命を待つ”という言葉引用され、健康管理の大切さと共に学生のみなさんが精いっぱい準備をして国試に臨むようにと伝えられました。また、学部長は本番が近づいてくるにつれて不安定になりがちな精神状態のなかでも平常心を忘れないこと、そして最後まで決して諦めないことを強調されました。



学生の皆様にはぜひこれらの言葉を忘れず、自分を信じて国家試験に臨んでほしいと思います。(文責：就職支援センター 濱本さん)

## 国家試験お見送り

2月に入り、国家試験がスタートしました。正面玄関にあふれる程教職員・学生が集まり、皆で試験会場に向かう学生達を見送りました。これまで積み上げてきたものを、しっかり出し切って欲しいと思



ます！写真は、2月19日(金)に言語聴覚学専攻を見送った際のもです。

## 私の秘話ヒストリー

今回は、医学検査学科の正木教授に投稿していただきました。

秘話らしいものはありませんが、らしい話を二つほど。

15年ほど前に、当時中学生だった息子のPTA役員をすることになりました。役員会が始まるまで時間があつたので、暇つぶしをするために、中学の図書室に行ってみました。

私の出身中学でもあつたので、ひょっとしたら自分が借りた本の一冊でも残っているのではないかと淡い期待で、行きつけであった科学関係の棚を探してみました。

古い本を見つけ、ひょっとしたらと思い、その図書カードを見たところ25~6年前に貸出のために書いた私の名前が見つかり、さらに、結構たくさんの本が残っていて、とても懐かしく思いました。しかし、私以外には借り手がなく、この本の良さがわからぬ生徒が多いと少し残念な気持ちになったことを覚えています。

小学生の頃、羽振りのよかつた叔父から400倍のおもちゃの顕微鏡を買ってもらい、楽しく使っていたことを思い出しました。根っから、科学好きな性格で、中学では科学部に入り、様々な金属塩を用いた金属樹の作成や餅に生えたカビを見て思いついたのですが、ゼラチンにブドウ糖を加えて作った培地を考え、それで純培養を行ったことなど、好き勝手にやっていました。

顕微鏡は今でも持っています。自分の子供たちに少しでも興味を持たそうと見せてあげましたが、誰一人、医療系に進んだものはいませんでした。

今度は、孫にでも見せてあげようかな？(文責：正木教授)

## 大学教育改革推進プログラム

既にご存知の通り、学長のリーダーシップのもと、本学における教育改革推進を図る目的として、「大学教育改革プログラム」のテーマが募集され、5課題が採択されました。

山野教授がこのプログラムで採択されたテーマの一環として、以下の講演会を開催されましたのでご紹介します。

2月12日(金)に北九州市立大学FDアドバイザーの中溝幸夫先生をお招きして「北九州市立大学FD活動」をテーマとした講演を頂きました。講演では、先生が取り組まれたFD活動の実践を拝聴ながら、授業のピア・レビューを全学的に取り組むこと、FD研修会のテーマをボトムアップ式に行うこと、新任教員への研修を充実させることの重要性を理解することができました。また、授業設計のポイントについても詳しい説明を聞くことができました。

「学生の学びの質を向上させるには、まず教員が変わらないといけない」という先生のメッセージにはとても共感できるものがありました。ご講演頂きありがとうございました。(文責：山野教授)



## 健康教育子育て広場

去る1月28日、看護学科3年次生8名が感染症予防をテーマとした健康教育を親子8組に行いました。植木健康福祉センターかがやき館内で開催されている親子ふれあい活動『つどいの広場』を、健康教育論演習のため1日だけ本学3号館実習室に場所を移していただき実現しました。0~4歳の乳幼児はとても活発で時に泣き声の響く中、懸命に感染症発生の動向や手洗い法等の内容を伝え、参加者から「勉強になった」との感想をいただき、学生達には健康教育の難しさとしら楽しさを知る貴重な経験となりました。

(文責：戸渡講師)



## 女子バレーボール部県大会優勝

昨年11月に、第16回熊本県一般・大学6人制バレーボール優勝大会が開催され、熊本保健科学大学女子バレーボール部が女子の部での優勝を果たしました。今回は県内の強豪校が不参加だったこともあり、本学女子バレーボールチームは、崇城大学や熊本薬学部にも順当に勝利し、優勝という最高の成績を収める事ができました。

選手たちには、学生時代の思い出をたくさん作るとともに、教室ではなかなか学べない事を吸収し、医療人として、そして一人の人間として羽ばたく礎を築いて欲しいと思っています。(文責：顧問・監督 岩井准教授)

